

下糸の準備

最初に、取扱説明書の「安全上のご注意」(表紙A)を必ずお読みください。
この「下糸の準備」では、下糸をセットする方法を説明しています。各手順で操作する箇所とその名称は、中央の図で確認してください。
詳しい手順については、取扱説明書の「下糸を準備する」(P17)を参照してください。

スタート

本機専用ピンを用意する

実物大
11.5mm

* 専用品以外のピンは使用できません。

1 電源を入れる

2 ポビンのミノと下糸巻き軸パネの位置を合わせて、ポビンを下糸巻き軸に差し込み、矢印方向(●)に押す

3 糸たて棒に、糸こまと糸こま押えを差す

* 糸こまの下側から糸が出るようにセットします。

4 糸を糸案内カバーの後ろに通してから、糸案内板の下を通す

* ミシン本体に示されている点線の順に糸を通します。

この早見表はCPS70シリーズで制作しています。CPS71/74/75/78シリーズでも使用方法は同じです。

5 下糸巻き案内に、糸をかける

奥までしっかり入れる

6 糸をポビンに時計回りに5~6回巻き、ガイドミノで糸を切る

* 必ずガイドミノを使用して糸を切ってください。適切な長さで糸が切れます。

7 スピードコントロールレバー

8 ポビンの回転がゆっくりになったら、もう一度スタート/ストップスイッチを押して、ミシンを止める

9 糸を切り、下糸巻き軸を矢印方向(●)に戻して、ポビンを抜く(●)

10 電源を切る

11 つまみを矢印方向に動かし、針板ふたを外す

12 糸が左巻きになるようにしてポビンを釜に入れ、糸を矢印の順にミノに通した後、カッターで糸を切る

指で軽く押さえる

* ポビンから糸を出す方向に注意してください。
* 糸が確実に内蓋の板パネの間に入っていることを確認してください。入っていない場合は、もう一度糸をかけ直してください。

13 針板ふたをもとに戻す

針板ふたの左下を差し込む

* 下糸を引き出さずに、ぬい始めることができます。

上糸の準備

最初に、取扱説明書の「安全上のご注意」(表紙A)を必ずお読みください。
この「上糸の準備」では、上糸をセットする方法を説明しています。各手順で操作する箇所とその名称は、中央の図で確認してください。
詳しい手順については、取扱説明書の「上糸を準備する」(P22)を参照してください。

スタート

1 電源を入れる

2 押えレバーを上げ、押えを上げる

* 押えが下がっていると、正しく糸が通りません。

3 針上下スイッチを押して、針を上げる

* 針が上にならないうちに、糸を通す装置で糸を通すことができません。

4 糸たて棒に、糸こまと糸こま押えを差す

* 糸こまの下側から糸が出るようにセットします。

5 糸を糸案内カバーの後ろに通してから、糸案内板の下を通す

* ミシン本体に示されている実線の順に糸を通します。

6 ミノにそって糸を通す

7 下図のように、左手で糸を保持し、右手で針の根元にある針棒糸かけに糸をかける

8 電源を切る

9 針棒糸かけにかけた糸の端を矢印方向に引き、糸案内皿のすき間に手前から糸を通す

10 糸切りで糸を切る

11 押えレバーを下げる

12 本体左側面の糸通しレバーを「ガチャ」と音がするまで下げてから、ゆっくり上に戻す

糸が針穴に通ります

13 押えレバーを上げ、糸を押えの間に通し、後方に5cmほど引き出す

5cm

* 糸が完全に通らず、針穴部に輪になってしまった場合は、糸の輪の部分をつまみ引き、糸の端を引き出してください。

針の種類と使い分け

ミシン針は、布地や糸の太さによって使い分けられます。次の表を参考に、目的に合った糸と針を選んでください。

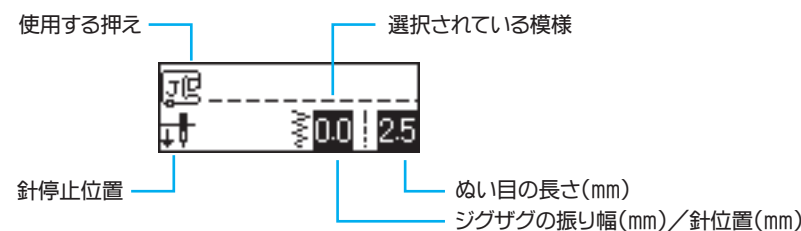
*購入時は、11番の針が取り付けられています。

布地の特徴・種類		ミシン糸		針の種類
		種類	太さ	
普通地	ブロード	綿糸	60~90	11~14
	タフタ	合繊糸		
	フラノ・ギャバシン	絹糸	50	
薄地	ローン	綿糸	60~90	9~11
	ジョーゼット	合繊糸		
	ポーラ	絹糸	50	
厚地	テニム	綿糸	30	16
			50	
	コーデュロイ	合繊糸	50~60	14~16
のびる布地	ジャージ	ニット用糸	50~60	HG針ニット用 #11~14
	トリコット			
ほつれやすい布地		綿糸	50~90	9~14
		合繊糸		
		絹糸	50	
ステッチ糸の場合		合繊糸・絹糸	30	16
			50~60	11~14

液晶画面の見方

ミシン操作中は、選択した模様の設定値や、まちがえて操作したときのエラーメッセージなどが液晶画面に表示されます。電源を入れると液晶画面が点灯し、次の基本画面が表示されます。それぞれの表示が示す意味は、以下の通りです。

基本画面



エラーメッセージ一覧

エラーメッセージ	原因	対処の仕方
△説明書の「エラーメッセージ」をみてください	上糸が釜にからまった、針が曲がって針板に当たったなどでミシンが停止した	取扱説明書の「こんなときは」を参照してください
押えレバーを下げてください	押えが上がった状態で、スタート/ストップ・返しぬい・糸切りのいずれかのスイッチを押した	押えレバーを下げてください
下糸巻軸を左にしてください	下糸巻軸を右にした状態で、返しぬい・針上下・糸切りのいずれかのスイッチを押した	下糸巻軸を左に戻してください
コントローラーを外してください	フットコントローラーを取り付けた状態で、スタート/ストップスイッチを押した	フットコントローラーを取り外してください
BHレバーを上げてください	ボタン穴かがりレバー(BHレバー)が下がった状態で、ボタン穴かがり・かんだめ以外を選択して、スタート/ストップスイッチまたは返しぬいスイッチを押した	ボタン穴かがりレバーを上げてください
BHレバーを下げてください	ボタン穴かがりレバー(BHレバー)が上がった状態で、ボタン穴かがり・かんだめを選択して、スタート/ストップスイッチまたは返しぬいスイッチを押した	ボタン穴かがりレバーを下げてください
振り幅調節をOFFしてください	振り幅コントロールがオンのときに、フットコントローラーを取り付けずにスタート/ストップスイッチを押した	振り幅コントロールをOFFにしてください
F01~F07	ミシンが故障していることが考えられますので、お買い上げの販売店またはお客様相談室(0120-340-233)までお問い合わせください	

模様一覧

本ミシンには、模様が18種類内蔵されています。それぞれの用途・ぬい目の長さ・振り幅・返しぬいスイッチ使用時の動作・使用する押えは以下の通りです。

模様	名称	用途例	ぬい目の長さ (mm)	振り幅 (mm)	返しぬいスイッチ使用時の動作	押え
	直線	左	0.2~5.0 (自動: 2.5)	0.0~7.0 (自動: 0.0)	返しぬい	①
		中		0.0~7.0 (自動: 3.5)	返しぬい	
〰	伸縮ぬい	伸びる布地をぬう	1.0~4.0 (自動: 2.5)	1.0~3.0 (自動: 1.0)	止めぬい	②
〰	ジグザグ	ほつれ止め、アップリケなどをぬう	0.0~4.0 (自動: 1.4)	0.0~7.0 (自動: 3.5)	返しぬい *自動止めぬい時は止めぬい	③
〰	たち目かがり	普通地または薄地のほつれ止め	1.0~4.0 (自動: 2.5)	2.5~5.0 (自動: 3.5)	止めぬい	④
		厚地やほつれやすい布地のほつれ止め		2.5~5.0 (自動: 5.0)	止めぬい	
		伸びる布地のほつれ止め		0.0~7.0 (自動: 5.0)	止めぬい	
〰	まつりぬい	普通地のすそ上げ	1.0~3.5 (自動: 2.0)	+3.0~-3.0 (自動: 0.0)	止めぬい	⑤
		伸びる布地のすそ上げ			止めぬい	
〰	3点ジグザグ	厚地や伸びる布地のほつれ止めや、ゴムテープをぬいつける	0.2~4.0 (自動: 1.0)	1.5~7.0 (自動: 5.0)	止めぬい	⑥
〰	三重ぬい	ぬい目を丈夫にする、伸びる布地をぬう	1.5~4.0 (自動: 2.5)	0.0~7.0 (自動: 0.0)	止めぬい	⑦
〰	アップリケ	アップリケなどの布をぬい付ける	1.6~4.0 (自動: 2.5)	2.5~7.0 (自動: 3.5)	止めぬい	⑧
〰	ファゴティング	布地と布地の間を離してかかる/飾りぬいをする	1.0~4.0 (自動: 2.5)	0.0~7.0 (自動: 5.0)	止めぬい	⑨
					止めぬい	
〰	スモッキング	スモッキングする	1.0~4.0 (自動: 1.6)		止めぬい	⑩

模様	名称	用途例	ぬい目の長さ (mm)	振り幅 (mm)	返しぬいスイッチ使用時の動作	押え
〰	かんだめ	ポケット口などのあき止まりを補強する	0.3~1.0 (自動: 0.4)	1.0~3.0 (自動: 2.0)	— *自動的に止めぬいをして止まります	⑪
〰	ボタン穴かがり	バジヤマ・シャツなどのボタンホールを作る	0.2~1.0 (自動: 0.4)	3.0~5.0 (自動: 5.0)	— *自動的に止めぬいをして止まります	
		ブラウス・シャツなどで横向きのボタンホールを作る		3.0~7.0 (自動: 7.0)	— *自動的に止めぬいをして止まります	
〰		スーツやコートなどのボタンホールを作る	0.3~1.0 (自動: 0.5)		— *自動的に止めぬいをして止まります	